

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

専門分野区分	プログラミング応用	科目名	モバイルアプリケーション開発			科目コード	T1285A2			
配当期	前期・後期・通年	授業実施形態	通常・集中			単位数	4単位			
担当教員名	奥信将人	履修グループ	3E(MP/SP)			授業方法	演習			
実務経験の内容	プログラマー・システムエンジニアとして13年、インフラエンジニアとして11年勤務してきた。開発ではiPhone/Androidのモバイルアプリ開発をWebシステムの開発を主に行ってきた。これらの経験に基づき、モバイルアプリの開発に必要な基本的な事項について実践的に指導する。									
学習一般目標	モバイルOSとして有名なAndroidで動作するアプリケーション開発を通じてスマートフォンで動作するモバイルアプリケーションの開発の基本を理解する。									
授業の概要および学習上の助言	講義では、テキストを使用しサンプルプログラムと実行結果を比べながらAndoridアプリの特徴やAndroidアプリのライフサイクル、Androidアプリの作成方法を解説していく。実習では講義内容を踏まえ、実際にサンプルプログラムを作成し動作の確認を行う。さらに理解を変更・追加を行いながら理解を深めていく。学習の区切り毎に課題として追加の課題プログラムを作成する。									
教科書および参考書	教科書: Android アプリ開発の教科書									
履修に必要な予備知識や技能	Javaを用いて基礎的なプログラムを作成できること 特に、クラス・継承・抽象クラス・インタフェースに関しては、不安であれば復習しておくこと									
使用機器	PC									
使用ソフト	AndrodiStudio									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標								
	1	Andorid アプリ開発の概要、基本的なAPIの使い方を理解し、説明できる。								
	1・2	Andorid アプリ上のUIを用意し利用する為の手順を理解しプログラムを作成できる。								
	1・2	Andorid アプリ上のレイアウトを調整し利用する為の手順を理解しプログラムを作成できる。								
	1・2	Andorid アプリ上で利用するデータを管理する為の手順を理解しプログラムを作成できる。								
	5	講義とプログラム実習に意欲を持って取り組むことができる。								
達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
	総合評価割合	40	30					30	100	
	学部 D P	1.知識・理解	30	20						50
		2.思考・判断	10	10						20
		3.態度								
4.技能・表現										

	5.関心・意欲							30	30
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点							
	試験	授業で行ってきた内容のまとめとして「確認課題」を作成して貰い、提出状況によって判断する。							
	クイズ 小テスト	区切り毎の「練習課題」の提出状況によって判断する。							
	レポート								
	成果発表 (口頭・実技)								
	作品								
	ポートフォリオ								
	その他	授業への出席、取り組みなどを含め総合的に判断する。							

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 /	Android アプリ開発環境の作成		
第2週 /	Android アプリ開発の基本手順		
第3週 /	ビューとアクティビティ		
第4週 /	イベントとリスナ		
第5週 /	リストビューとダイアログ		
第6週 /	レイアウト		
第7週 /	画面遷移とインテント		
第8週 /	オプションメニューとコンテキスト メニュー		
第9週 /	フラグメント		
第10週 /	データベースアクセス		
第11週 /	非同期処理と WebAPI		
第12週 /	メディア再生		
第13週 /	確認課題		
第14週 /	確認課題		